



# 平成31年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年11月5日

上場会社名 株式会社 きちり  
 コード番号 3082 URL <http://www.kichiri.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平川 昌紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 葛原 昭  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6262-3456

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年6月期第1四半期の業績(平成30年7月1日～平成30年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第1四半期	2,386	5.9	69	15.6	70	14.0	39	
30年6月期第1四半期	2,253	5.8	82	123.3	81	127.0	50	306.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第1四半期	3.90	
30年6月期第1四半期	4.91	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年6月期第1四半期	3,940	1,758	44.6
30年6月期	4,392	1,900	43.3

(参考)自己資本 31年6月期第1四半期 1,758百万円 30年6月期 1,900百万円

(注)「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、前会計期間に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		10.00	10.00
31年6月期					
31年6月期(予想)		0.00		7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年6月期期末配当の内訳は、普通配当7円50銭、記念配当2円50銭であります。

## 3. 平成31年6月期の業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	4,900	5.4	220	2.1	220	2.5	59	0.0	5.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成31年6月期第3四半期から持株会社体制移行に伴う連結財務諸表作成会社となるため、平成31年6月期通期の個別業績予想の公表を控えさせていただきます。なお、平成31年6月通期の業績につきましては、平成30年10月5日公表の「特別損失の計上、平成31年6月期第2四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期1Q	10,550,400 株	30年6月期	10,550,400 株
期末自己株式数	31年6月期1Q	325,662 株	30年6月期	325,662 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期1Q	10,224,738 株	30年6月期1Q	10,224,738 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計上の見積りの変更) .....	5
(追加情報) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や日本銀行の金融緩和策等の効果による設備投資の堅調な伸びが続き、企業収益は総じて回復基調が続いております。一方で、個人消費は、物価上昇率低下に伴う実質所得の下げ止まりや消費者マインドの改善もあり、持ち直しの動きが続いていますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等、依然として先行きが不透明な状況となっております。

当外食業界におきましては、景気回復に伴い、高価格帯商品にシフトする消費者志向の変化が見られたものの、全般的には消費者の節約志向が依然として高く、また、中食業界の拡大、新規参入が容易であること等による競争の激化等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は関東圏を中心とした当社ブランドの更なる認知度向上を企図し、平成30年7月には東京都新宿区のJR新宿駅南口にある新宿ミロード内にビビンバ専門店「VEGEGO」と表参道のランドロイド・ギャラリー内にウバ茶・抹茶・ほうじ茶を使用した本物志向のミルクティー専門店「CHAVATY」の新規出店を進めると共に、多様化する消費者のニーズに対応するため、付加価値の高い料理の開発や、新たな業態の構築にも尽力しております。

また、プラットフォームシェアリング事業については、外食企業向けの更なるプラットフォーム強化を進めるとともにフランチャイズ契約におけるロイヤリティ収入も開始しており、今後につきましても、あらゆる可能性を模索しながら、事業の拡大に努めたいと考えています。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、2,386百万円(前期比5.9%増)、営業利益69百万円(前期比15.6%減)、経常利益70百万円(前期比14.0%減)、四半期純損失39百万円(前年同期は四半期純利益50百万円)となりました。

なお、当社はイーター・アジア・パシフィック株式会社における創業フェーズの役割を終えたため、親会社である三井物産株式会社に売却することを決議しております。そのため、当第1四半期累計期間に、特別損失として関係会社株式評価損121百万円を計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は3,940百万円となり、前事業年度末と比較して451百万円減少しております。

流動資産合計は1,416百万円となり、前事業年度末と比較して371百万円減少しております。減少の主な要因は、配当金等の支払により現金及び預金が516百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産合計は2,523百万円となり、前事業年度末と比較して80百万円減少しております。減少の主な要因は、関係会社株式評価損121百万円を計上したこと等によるものであります。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は2,181百万円となり、前事業年度末と比較して309百万円減少しております。

流動負債合計は1,121百万円となり、前事業年度末と比較して264百万円減少しております。減少の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が107百万円減少と未払法人税等が87百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債合計は1,060百万円となり、前事業年度末と比較して45百万円減少しております。減少の主な要因は、長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替により43百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,758百万円となり、前事業年度末と比較して142百万円減少しております。減少の主な要因は、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少39百万円と配当金支払いにより102百万円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前期末の数値で比較を行っております。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年6月期の業績予想につきましては、平成30年10月5日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,157,862	641,545
売掛金	158,716	155,637
原材料及び貯蔵品	65,337	73,424
その他	406,425	546,047
流動資産合計	1,788,342	1,416,654
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,250,589	1,250,187
その他(純額)	201,123	193,724
有形固定資産合計	1,451,712	1,443,912
無形固定資産	1,342	1,188
投資その他の資産		
投資有価証券	39,755	69,717
関係会社株式	193,726	72,226
差入保証金	778,808	784,340
その他	139,290	153,185
貸倒引当金	△768	△768
投資その他の資産合計	1,150,812	1,078,703
固定資産合計	2,603,867	2,523,803
資産合計	4,392,210	3,940,458
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	240,513	247,393
1年内返済予定の長期借入金	283,092	175,692
未払法人税等	109,374	21,609
賞与引当金	—	21,225
株主優待引当金	7,795	5,907
その他	745,300	649,730
流動負債合計	1,386,076	1,121,558
固定負債		
長期借入金	1,072,359	1,028,436
資産除去債務	16,526	20,358
その他	16,530	11,512
固定負債合計	1,105,415	1,060,306
負債合計	2,491,491	2,181,865
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	381,530	381,530
資本剰余金	364,614	364,614
利益剰余金	1,268,430	1,126,305
自己株式	△113,857	△113,857
株主資本合計	1,900,718	1,758,592
純資産合計	1,900,718	1,758,592
負債純資産合計	4,392,210	3,940,458

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成29年7月1日 至平成29年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成30年7月1日 至平成30年9月30日）
売上高	2,253,498	2,386,858
売上原価	597,429	676,051
売上総利益	1,656,068	1,710,807
販売費及び一般管理費	1,573,704	1,641,279
営業利益	82,364	69,528
営業外収益		
受取利息	1	89
協賛金収入	1,007	1,007
出資金償還益	—	1,832
その他	561	209
営業外収益合計	1,570	3,139
営業外費用		
支払利息	735	539
支払手数料	646	758
その他	914	1,142
営業外費用合計	2,297	2,440
経常利益	81,637	70,227
特別損失		
関係会社株式評価損	—	121,499
特別損失合計	—	121,499
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	81,637	△51,272
法人税、住民税及び事業税	11,790	7,318
法人税等調整額	19,636	△18,712
法人税等合計	31,427	△11,394
四半期純利益又は四半期純損失（△）	50,210	△39,878

## （3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（耐用年数の変更）

当社が保有する建物（建物附属設備を除く）は、従来耐用年数を10年として減価償却を行ってきましたが、持株会社体制への移行決定を契機に、店舗運営方針の見直しを行うにあたり店舗の使用実態を調査した結果、多業態開発に伴い店舗業態の変更を行うことで、同一店舗の継続営業年数が長期化しており、かつ今後も同様の状況が見込まれることから、その使用実態を反映して耐用年数を20年に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第1四半期累計期間の減価償却費が20,983千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が20,983千円それぞれ増加しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

（重要な後発事象）

（ストックオプションとしての新株予約権の発行）

当社は、平成30年9月27日開催の取締役会において、当社の取締役及び従業員に対し、ストックオプションとしての新株予約権の発行について具体的内容を決議し、平成30年10月19日に対象者に付与いたしました。

決議年月日	平成30年9月27日
付与対象者の区分及び人数（名）	当社取締役 2名 当社従業員 5名
新株予約権の数（個）	1,400（注）1
新株予約権の目的となる株式の種類、内容及び数（株）	普通株式 140,000（注）1
新株予約権の行使時の払込金額（円）	895（注）2
新株予約権の行使期間	自 平成34年9月27日 至 平成40年9月26日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額（円）	発行価格 895 資本組入額 448
新株予約権の行使の条件	新株予約権は権利行使時においても、当社又は当社関係会社の取締役若しくは従業員の地位にあることを要する。ただし、当社又は当社関係会社の取締役を任期満了により退任した場合、又は定年退職その他正当な理由のある場合はこの限りではない。
新株予約権の譲渡に関する事項	新株予約権の譲渡については、取締役会の承認を要するものとする。
組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項	—

（注）1 新株予約権1個につき目的となる株式の数（付与株式数）は、100株であります。なお、当社が株式分割又は株式併合を行う場合、次の算式により目的となる株式の数を調整するものとする。ただし、かかる調整は、本新株予約権のうち、当該時点で権利行使されていない新株予約権の目的となる株式の数について行われ、調整の結果1株未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

$$\text{調整後株式数} = \text{調整前株式数} \times \text{分割・併合の比率}$$

（注）2 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額は、新株予約権の行使により交付を受けることができる株式1株当たりの払込金額（以下「行使価額」という）に当該新株予約権にかかる付与株式数を乗じた金額とする。行使価額は、新株予約権を割り当てる日（以下「割当日」という。）の属する月の前月の各日（取引が成立しない日を除く。）の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（以下「終値」という。）の平均値に1.10を乗じた金額とし、1円未満の端数は切り上げる。ただし、その金額が割当日の終値（当日に終値が無い場合は、それに先立つ直近日の終値）を下回る場合は、割当日の終値とする。

なお、割当日後、当社が当社普通株式につき株式分割又は株式併合等を行う場合には、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

また、新株予約権の割当日後、当社が当社普通株式につき、時価を下回る価額で新株を発行又は自己株式の処分を行う場合は、次の算式により行使価額を調整し、調整による1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後行使価額} = \text{調整前行使価額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新規発行株式数} \times \text{1株当たり払込金額}}{\text{新規発行前の時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新規発行株式数}}$$

上記算式において、「既発行株式数」とは当社の発行済普通株式総数から当社が保有する普通株式に係る自己株式数を控除した数とし、また、自己株式の処分を行う場合には「新規発行株式数」を「処分する自己株式数」に読み替える。

上記のほか、割当日後に、当社が他社と合併する場合、会社分割を行う場合、資本減少を行う場合、その他これらの場合に準じ、行使価額の調整を必要とする場合には、取締役会の決議により合理的な範囲で行使価額を調整するものとする。